

科目名：スタートアップセミナー		必修	1単位(45時間)	
(Start-up Seminar)				
履修年次/時期：1年次 前期		授業形態：講義		
主担当教員：片岡 あい子 主担当教員詳細： 担当教員名：劉 彦君				
学修目的	歯科衛生学科において主体的かつ効果的に学問を学び修めることができるように、歯科衛生士に必要な基本的学習スキルを身につける。 関連するCP： CP1,CP2,CP4,CP5 科目No. S1A01H01			
この科目が 目的と している DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	◎	
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○	
		(3)社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○	
	3. 口腔の健康支援を通し全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	
		(2)優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○	
		(3)歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○	
	◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP			
	到達目標	1. 本学の建学の精神と歴史、歯科衛生学科の特色、到達すべき歯科衛生士像について理解を深める 2. 将来必要となる多職種連携に対応するための看護学の基礎を学ぶ。 3. 主体的に学ぶ喜びを知り、自学自習能力を育成する。 4. 他者との主体的なかかわり方やコミュニケーション能力の重要性を理解する。 5. レポートの書き方を理解し、課題レポートが作成できる。 6. 歯科衛生士の倫理綱領を理解し、附属病院での歯科衛生士の役割を知る。		
授業概要	本学の教育内容、学習方法について理解し、大学教育への円滑な導入を促す。基礎的な学力を確認しつつ、自ら課題を見出し探求する能力、調査や情報収集の必要性を知る。さらに、医療職に必要なケアの重要性やコミュニケーション能力の向上のための具体的方策を学ぶ。			
評価方法	提出物(レポート、課題)、参加態度により評価する。 課題に対するフィードバックは講義中に行う。			
予習・復習時間	【予習】1.1時間 【復習】1.1時間			
教科書	なし			
参考書	随時紹介する			
オフィスワー連絡先	片岡あい子：月～金 16:00～17:00(3号館2階研究室) kataoka@kdu.ac.jp 劉彦君：月～金 16:00～17:00(3号館2階研究室) ryu@kdu.ac.jp 不在時はメールで問い合わせてください。			

実施回	第1回	実施日	2026/04/07	時限	1	班	
授業計画	【本学の特徴や教育内容、学習方法や充実した学生生活を送る方法】 「CAMPUS GUIDE2024」を持参すること。 1. 建学の精神・教育理念・教育目的・教育目標を理解できる。 2. ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーが理解できる。 3. 学習成果を理解できる。 4. 短期大学部諸規則が理解できる。 5. シラバスの活用方法が分かる。 6. 本学学習過程におけるリメディアル教育の重要性が理解できる。 7. 目標管理シートを用いて自分の1年間の目標を立案できる。 8. 検温・行動記録表を記載することができる	予習	「CAMPUS GUIDE2024」を確認し、疑問点・不明点を明らかにしておくこと。検温・行動記録表を記載しておくこと。				
		復習	「CAMPUS GUIDE2024」を読み返す。シラバスを印刷し、ファイリングの準備をする。目標管理シートを作成する。				
		キーワード	建学の精神、教育理念、教育目的・目標、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、学習成果、シラバス、リメディアル教育、目標管理シート、検温・行動記録				
授業形態	講義	担当	劉				

実施回	第2回	実施日	2026/04/14	時限	1	班	
授業計画	【大学での勉強方法】 1. 単位の考え方を説明できる 2. ノートのとり方のポイントを知る 3. テキストの読み方のポイントを知る 4. レポートの作成方法を知る 5. 文献の読み方を知る 6. メールの書き方を理解する	予習	大学での学修について				
		復習	大学での学修について				
		キーワード	単位、ノートのとり方作成、レポートの作成方法、文献の読み方、メールの書き方				
授業形態	講義	担当	片岡				

実施回	第3回	実施日	2026/04/15	時限	4	班	
授業計画	【歯科衛生学科での学修】 1. 歯科衛生学科での受講ルールを知る。 2. 主体的に学び自学自習能力の意義について理解できる。 3. 演習・実習の身だしなみを知る。 4. ポートフォリオの活用方法が分かる。	予習	現時点で自分が目指す歯科衛生士像を考えておく。				
		復習	「CAMPUS GUIDE2024」と配布資料を読み返す。				
		キーワード	少子化社会、超高齢社会、多職種連携、自学自習、ディプロマポリシー、ルーブリック評価、ポートフォリオ、歯科衛生士の将来像				
授業形態	講義	担当	山本				

実施回	第4回	実施日	2026/04/17	時限	1	班	
授業計画	【歯科衛生士と看護師の連携①】 1. 歯科衛生士と看護師の共通点を理解する。 2. 歯科衛生士と看護師の異なる点を理解する。 3. 歯科衛生士と看護師の連携の実際を知る。	予習	課題資料を読む。				
		復習	看護師との連携について考える。				
		キーワード	看護				
授業形態	講義	担当	佐藤				

実施回	第5回	実施日	2026/04/17	時限	2	班	
授業計画	【自分と他の人を知る】 1. 名刺作り(ニックネーム、大切な物人、思い出) 2. グループメンバーに名刺の内容を伝える。 3. グループメンバーの名刺の内容を聴く。 4. 多様性を理解する。	予習	5回目授業で提示				
		復習	レポート課題1: 自分について発見したこと・改めて気づいたことをレポートする。 400字以内				
		キーワード	自と他 多様性				
授業形態	講義, 演習	担当	片岡				

実施回	第6回	実施日	2026/04/21	時限	1	班	
授業計画	【死生観】 1. 生と死、人生について考える。 2. 医療職業人としての心構えを知る。	予習	生と死、人生について考える				
		復習	レポート課題				
		キーワード	プロフェッショナリズム、緩和ケア、死生観				
授業形態	講義	担当	招聘講師				

実施回	第7回	実施日	2026/04/24	時限	1	班	
授業計画	【チームワーク】 1. グループで課題に取り組む。 2. 情報収集・分析・仮説・行動・結果を意識する。 3. グループ活動について振り返る。共有する。	予習	課題資料を読む。				
		復習	チームワークの重要性についてまとめる。				

		キーワード	チームワーク、連携、自分の得意なことでチームに役立つこと		
授業形態	講義,演習	担当	片岡		

実施回	第8回	実施日	2026/04/24	時限	2	班	
授業計画	【医療コミュニケーション】 1「聞く」と「聴く」の違いを理解する。 2「聴く」の基本的技術について理解する。 3「伝える」の基本的技術について理解する。	予習	課題資料を読む。				
		復習	「聴く」「伝える」技術についてまとめる。				
		キーワード	聴く・伝える技術				
授業形態	講義	担当	片岡				

実施回	第9回	実施日	2026/04/28	時限	1	班	
授業計画	【歯科衛生士と看護師の連携②】 1全身のアセスメント・看護過程について知る。 2医療者の記録とその共有の重要性を知る。 3歯科衛生士と看護師の協力・連携強化で発展する未来図	予習	課題資料を読む。				
		復習	自分か歯科衛生士になった未来を考えてみる。				
		キーワード	医療者の記録				
授業形態	講義	担当	佐藤				

実施回	第10回	実施日	2026/06/19	時限	2	班	
授業計画	【医療接遇・附属病院見学オリエンテーション】 1. 医療現場での接遇マナーの必要性を知る。 2. 医療現場での接遇マナーを説明できる。 3. 附属病院での歯科衛生士の役割を知る。 4. 附属病院での実習について知る。	予習	歯科衛生士の業務について				
		復習	歯科衛生士の業務について				
		キーワード	身だしなみ、挨拶、態度、言葉遣い、歯科衛生士業務、多職種連携、臨床実習、医療コミュニケーション、歯科衛生士の倫理綱領				
授業形態	講義	担当	片岡				

実施回	第11回	実施日	2026/01/30	時限		班	
授業計画	【附属病院見学】 1. 附属病院を見学する。 2. 歯科診療における歯科衛生士の関わりを知る。 3. 附属病院における実習を見学する。 4. 歯科衛生士の倫理綱領を知る。	予習	歯科衛生士の業務について				
		復習	自分か歯科衛生士になった未来を考えてみる。				
		キーワード	歯科衛生士の倫理綱領、歯科衛生士業務、多職種連携、臨床実習、医療コミュニケーション				
授業形態		担当	○片岡, 劉				